

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	「まなび力」の視点から <input type="checkbox"/> 基礎・基本の定着 <input type="checkbox"/> 生徒主体の活動を多く取り入れた「学びの質」の向上 <input type="checkbox"/> 家庭学習の充実 「きずな力」の視点から <input type="checkbox"/> 「多様な価値観や違い」を認め、「自他の尊重」を行動として実行できる生徒の育成	「しぐさ力」の視点から <input type="checkbox"/> やるべきことをいつでもどこでも発揮できる「本物の力」の育成 <input type="checkbox"/> 普段の生活（基本的生活習慣）の充実
----------------------	---	--

2 学校教育目標	夢に向かう颯爽とした生徒の育成 ～「嬉中まなび力」「嬉中しぐさ力」「嬉中きずな力」～
-----------------	---

3 本年度の重点目標	1 学力の向上・・・「小中連携による学力向上推進地域指定事業」を活用した学力向上対策（西部型授業の徹底、学習規律・家庭学習の定着） 2 たくまさと自信の育成・・・家庭や地域連携を強化した、指導・評価・支援（基本的生活習慣の定着、不登校支援） 3 人権意識の向上・・・様々な価値観や違いを認め合う人間関係作り（人権・同和教育、道徳、学活等） 4 ICT活用教育の推進
-------------------	---

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		学校関係者評価
				評価	評価	評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・西部型授業の徹底。 ・ICTを有効活用し、学びの質の向上を図る。					・学力向上 コーディネーター ・研究主任 ・指導法改善	
	○学習意識向上・学習規律・家庭学習の定着	○毎日家庭学習のできる生徒90%以上 ○工夫して自主学習に取り組む生徒の数を70%以上	・自主学習について具体的方策を提示する。 ・家庭での学習時間や生活リズムについて振り返らせる。					・学力向上 コーディネーター ・研究主任	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権・同和教育、道徳等を基本においた人権意識の向上 ○コミュニティ・スクールを活用した地域との連携の充実	・QUTテストの考察を行い、人権の視点に立った授業や体験活動を行う。 ・コミュニティ・スクールを基盤とした地域行事への積極的参加を促す。					・人権・同和教育 ・学校行事企画	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめを受けていない、いじめをしていない、いじめを見逃していない」という回答が95%以上 ○「いじめ」の認知を5件以下	・「いじめ」に関する定期的な指導と喚起を促し、予防と撲滅を図る。 ・情報リテラシーについての知識を高め、SNSの危険性への意識を高めさせる。					・生徒指導 ・教育相談	
	○「おもてなしの精神」に基づいた、きちんとした挨拶と毎日の丁寧な掃除	・「挨拶がすすんでできている」の項目の好意的な評価が85%以上 ・「掃除を時間いっぱい丁寧に行っている」の項目で好意的な評価が85%以上	・挨拶の目的と意味を知らせ、場に応じた挨拶の仕方を指導する。 ・掃除では、年度初めに掃除の仕方を身につけさせ、継続的に指導を行う。					・環境美化 ・生徒会	
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒100%	・給食へ感謝する気持ちをもたせる。 ・必要な栄養について知識を深め、自己の健康管理を意識させていく。					・給食指導・食育	
	○望ましい生活習慣の形成	○時間を意識して、規律ある生活をおくれる生徒85%以上	・家庭と連携し、「早寝、早起き、朝ごはん」に積極的に取り組む。 ・ノーテレビ・ノーゲームデーとの取組と連携し、家庭での時間の使い方の改善を図る。					・養護教諭 ・学年主任	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定 ・部活動休養日の設定 ・効果的・効率的な業務推進					管理職	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		学校関係者評価
				評価	評価	評価	意見や提言		
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○支援を要する全ての生徒に対して、個別の支援計画を作成、活用 ○UDを意識した教室環境や板書の仕方等、生徒の状況に配慮した指導の在り方等の理解	・校内特別支援委員会やケース会議を適宜開催し、学校全体での支援体制を構築する。					・特別支援教育	
◎キャリア教育の充実	◎将来の夢や進路について、自分の考えを持つことができる生徒の育成	◎将来の夢や進路について、自分の考えを持つことができる生徒80%以上	・職業調べや、職業体験、高校調べなどを通して、自分の将来について考えさせる。					・進路指導	

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
-----------------------	-------------